

日本では、国民全員が「健康保険」に加入します。これは世界的にも珍しい日本独特の制度です。今回は「健康保険」とはどのような制度なのか、簡単に紹介していきます。

今回のテーマ

〈健康保険とは？複雑な制度をアバウトに解説！〉

I 日本人は、数種類ある「健康保険」のどれかに必ず加入する！

- ① 企業が加入してくれる健康保険→ 健保組合・協会けんぽ 等
- ② 公務員等が加入する→ 共済組合
- ③ 個人で加入する→ 国民健康保険
- ④ その他

II 保険料は、およそ給料の10%

- ① 企業と本人が半分ずつ負担する→ 健保組合・協会けんぽ・共済組合
- ② 本人が全額負担する→ 国民健康保険（自営業・フリーランス等）

III 家族は、「扶養家族」として保護者の健康保健に含まれる。

- ① 基本的には19才以下。学生は22才以下
- ② 基準以上の収入がある者は、独立して加入する。

IV 風邪で病院に行ったとき、3000円くらいですむカラクリとは？

- ① 健康保険に入っていると、医療費の70%を健康保険が負担する。
※風邪の医療費は、実は10000円くらいかかっている！

V 月の医療費が高額になったとしても、支払いは大体9万円ですむ。

- ① 健康保険加入者の1ヶ月の医療費の支払いには上限がある。
- ② ①を高額医療費制度と言い、大体の人の上限が9万円くらい。
- ③ 実はペースメーカー埋め込み手術とか、400万円くらいするが、健康保険加入者は、9万円くらいの負担ですむ。

VI 保険適用外の治療をした場合は、個人で全額負担になる。